

雨水で音楽を奏でよう

帝塚山中学校

太田有紗

雨音にはヒーリング効果があるということを知っていますか？雨音に含まれている人間の耳には聞こえない超音波に、心を癒す効果があると言われていきます。また雨の音には、脳波に影響を与えて集中力がアップするという効果もあるそうです。そこで私は、雨水を活用した滝や噴水に音楽を奏でる装置を付けたオブジェのような物を、屋外のあらゆる場所に設置すれば良いのではと考えました。その装置をレインハープと名付けます。水を様々な大きさのグラスに入れて音階を作り、指先でグラスを摩擦する事によって音楽を奏でるグラスハープの演奏を聴いた事があります。水がグラスに共鳴して、震える音の響きがオルゴールのようにとてもきれいで心に残りました。

レインハーブの効果は、水音が奏でる音楽のヒーリング効果と、噴水から飛び散る水の打ち水の役割です。打ち水が蒸発することによって地面や大気の熱を奪い、地面や空気の温度が2度下がるそうです。都市部は効外に比べて気温が高くなるというヒートアイランド現象の改善になります。真夏の外出による体力消耗を改善し、熱中症の予防にも効果的です。

レインハーブに時計機能を付けて時間毎に自動演奏すると、街の憩いの場所になります。夜はライトアップして光と水のショーをする。一年を通して人々が集まる場所になります。噴水の形は、一般的な上から見ると放射状の形で、音階毎に水を受ける装置を付けます。または、省スペースで壁掛け型も良いと思います。雨水を貯水して循環する装置も必要です。時計機能や光の電源は、太陽光発電でまかないます。

ここまで大掛かりな装置を屋外の駅前や公

園・競技場やテーマパークなど多くの場所に設置するには、相当な金額がかかると思います。噴水の金額を調べてみると、小さな物は二百万円から、外国のホテルの壮大な設備になると、五億円程するそうです。地域の会社などから寄付を募りながら、美術大学や音楽大学や工学部など、学生達がアイデアを出して作成するなど、地域の特色を活かしたご当地レインハイプが作られたら面白いと思います。

猛暑日が続くと、雨の恵みがとても嬉しく感じます。雨の降らない日も、水音が音楽を奏でるレインハイプが街中にあるのは、外出する時にワクワクした気持ちになると思います。スマートフォンやイヤホンから少し離れて、街の景色と音楽に目を向けて、人々の心が穏やかになれば、街のかけがえのない存在になると思います。